

プラットフォームイベントフィルタの設定

この章は、次の内容で構成されています。

- プラットフォーム イベント フィルタ. 1 ページ
- プラットフォーム イベント アラートのイネーブル化、2 ページ
- プラットフォームイベントアラートのディセーブル化、2ページ
- プラットフォーム イベント フィルタの設定, 3 ページ
- プラットフォーム イベント トラップの解釈、4 ページ

プラットフォーム イベント フィルタ

プラットフォームイベントフィルタ (PEF) は、アクションをトリガーしたり、ハードウェア関連の重要なイベントが発生したときはアラートを生成したりできます。 PEF ごとに、プラットフォームイベントが発生したときに実行するアクション(またはアクションを実行しないこと)を選択できます。 また、プラットフォームイベントが発生したときにアラートを生成して送信することもできます。 アラートは SNMP トラップとして送信されるので、アラートを送信するには、先に SNMP トラップの宛先を設定する必要があります。

プラットフォームイベントアラートの生成はグローバルにイネーブルまたはディセーブルにできます。 ディセーブルにすると、PEF がアラートを送信するように設定されていても、アラートは送信されません。

プラットフォーム イベント アラートのイネーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope fault	障害コマンドモードを開始します。
ステップ2	Server /fault # set platform-event-enabled yes	プラットフォーム イベント アラートをイ ネーブルにします。
ステップ3	Server /fault # commit	トランザクションをシステムの設定にコミッ トします。
ステップ4	Server /fault # show [detail]	(任意) プラットフォームイベントアラー トの設定を表示します。

次に、プラットフォームイベントアラートをイネーブルにする例を示します。

Server# scope fault
Server /fault # set platform-event-enabled yes
Server /fault *# commit
Server /fault # show
Platform Event Enabled
-----yes

プラットフォーム イベント アラートのディセーブル化

手順

Server /fault #

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope fault	障害コマンドモードを開始します。
ステップ 2	Server /fault # set platform-event-enabled no	プラットフォームイベントアラートをディ セーブルにします。
ステップ3	Server /fault # commit	トランザクションをシステムの設定にコミッ トします。
ステップ4	Server /fault # show [detail]	(任意) プラットフォームイベントアラートの設定を表示します。

次に、プラットフォームイベントアラートをディセーブルにする例を示します。

Server# scope fault
Server /fault # set platform-event-enabled no
Server /fault *# commit
Server /fault # show
Platform Event Enabled

no

Server /fault #

プラットフォーム イベント フィルタの設定

次のプラットフォームイベントフィルタに対する処理とアラートを設定できます。

ID	プラットフォーム イベント フィルタ
1	温度緊急アサートフィルタ
2	温度警告アサート フィルタ
3	電圧緊急アサート フィルタ
4	プロセッサ アサート フィルタ
5	メモリ緊急アサート フィルタ
6	ドライブ スロット アサート フィルタ
7	LSI 緊急アサート フィルタ
8	LSI 警告アサート フィルタ

手順

	コマンドまたはアクショ ン	目的
ステップ1	Server# scope fault	障害コマンドモードを開始します。
ステップ 2	Server /fault # scope pef id	指定したイベントに対してプラットフォーム イベントフィルタ コマンド モードを開始します。 イベント ID 番号に対応するプラットフォームイベントフィルタの表を参照してください。
ステップ3	Server /fault/pef # set action {none reboot power-cycle power-off}	このイベントが発生した場合に必要なシステムの処理を選択します。 次のいずれかの処理を選択できます。

	コマンドまたはアクショ ン	目的
		 *none: システム アクションは実行されません。 *reboot: サーバがリブートされます。 *power-cycle: サーバの電源が再投入されます。 *power-off: サーバの電源がオフになります。
ステップ4	Server /fault/pef # set send-alert {yes no}	このイベントに対するプラットフォーム イベント ア ラートの送信をイネーブルまたはディセーブルにしま す。 (注) 送信するアラートについて、フィルタトラッ プを正しく設定し、プラットフォームイベン トアラートをイネーブルにする必要がありま す。
ステップ5	Server /fault/pef # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

次に、イベントに対するプラットフォームイベントアラートを設定します。

次の作業

PEF を設定してアラートを送信する場合は、次のタスクを完了させます。

- •プラットフォーム イベント アラートのイネーブル化
- ・SNMP トラップ設定の実行

プラットフォーム イベント トラップの解釈

SNMPトラップとして送信された CIMC プラットフォーム イベント アラートには、エンタープライズ オブジェクト ID (OID) が 1.3.6.1.4.1.3183.1.1.0.event の形式で含まれています。 OID の最初の 10 個のフィールドは、

iso (1) .org (3) .dod(6) .internet (1) .private (4) .enterprises (1) .wired_for_management (3183) .PET (1) .version (0) を表し、IPMI プラットフォーム イベント トラップ (PET) バージョン 1.0 メッセージであること

を示しています。 最後のフィールドはイベント番号であり、通知されている特定の状態またはア ラートを示しています。

プラットフォーム イベント トラップの説明

次の表に、プラットフォームイベントトラップメッセージで通知されるイベントの説明を示します。これらは、トラップ OID のイベント番号に基づいています。

イベント番号[注記 1]	プラットフォーム イベントの説明
0	0h	テスト トラップ
65799	010107h	温度に関する警告
65801	010109h	温度が重大な状態
131330	020102h	電圧不足、緊急
131337	020109h	電圧が重大な状態
196871	030107h	電流に関する警告
262402	040102h	ファンが重大な状態
459776	070400h	プロセッサ関連(IOH-Thermalert/Caterr センサー): 予測障害非アサート
459777	070401h	プロセッサ関連(IOH-Thermalert/Caterr センサー): 予測障害ア サート
460032	070500h	プロセッサ電力警告:制限未超過
460033	070501h	プロセッサ電力警告:制限超過
524533	0800F5h	電源が重大な状態
524551	080107h	電源に関する警告
525313	080401h	個々の電源に関する警告
527105	080B01h	電源冗長性の損失
527106	080B02h	電源冗長性復元
552704	086F00h	電源挿入済み
552705	086F01h	電源モジュール障害
552707	086F03h	電源 AC の損失
786433	0C0001h	修正可能な ECC メモリ エラー、リリース 1.3(1) 以降のリリース、すべての読み取りタイプを受け入れるように設定されたフィルタ [注記 4]

イベント番号 [注記 1]		プラットフォーム イベントの説明
786439	0C0007h	DDR3_INFOセンサーLED: REDビットアサート (DIMMでのECCエラーの可能性が高い)、汎用センサー[注記 2、3]
786689	0C0101h	修正可能な ECC メモリ エラー、リリース 1.3(1) 以降のリリース
818945	0C7F01h	修正可能な ECC メモリ エラー、リリース 1.2(x) 以前のリリース
818951	0C7F07h	DDR3_INFOセンサーLED: REDビットアサート (DIMMでのECCエラーの可能性が高い)、1.2(x)以前のリリース[注記3]
851968	0D0000h	HDD センサーで障害が示されない、汎用センサー [注記 2]
851972	0D0004h	HDD センサーで障害が示される、汎用センサー [注記 2]
854016	0D0800h	HDD が存在しない、汎用センサー [注記 2]
854017	0D0801h	HDD が存在する、汎用センサー [注記 2]
880384	0D6F00h	HDD あり、障害の兆候なし
880385	0D6F01h	HDD の障害
880512	0D6F80h	HDD が存在しない
880513	0D6F81h	HDD がアサート解除されたが障害状態ではない
884480	0D7F00h	ドライブ スロット LED オフ
884481	0D7F01h	ドライブ スロット LED オン
884482	0D7F02h	ドライブ スロット LED 高速で点滅
884483	0D7F03h	ドライブ スロット LED 低速で点滅
884484	0D7F04h	ドライブ スロット LED 緑
884485	0D7F05h	ドライブ スロット LED オレンジ
884486	0D7F01h	ドライブ スロット LED 青
884487	0D7F01h	ドライブ スロット LED 読み取り
884488	0D7F08h	ドライブ スロット オンライン
884489	0D7F09h	ドライブ スロット低下

(注) すべての読み取りタイプを受け入れるようにイベントフィルタが設定された場合、16 進のイベント番号のビット 15:8 は 0 にマスクされます。 たとえば、イベント番号 786689 (0C0101h) は 786433 (0C0001h) になります。